

第16回 丹沢大山自然再生委員会（平成28年度総会）
議事録

日時： 平成28年6月24日（金） 13:30～16:00
場所： 開港記念会館 6会議室

○委員長 あいさつ

自然再生委員会委員長を拝命しております羽山と申します。本日はご多忙の中、丹沢大山再生委員会にご出席頂きましてありがとうございます。昨年度、皆様のご協力によりまして、再生委員会活動報告会を『丹沢大山国定公園 50周年記念フォーラム』という形で開催することができました。おかげさまで大変多くの方にご参加頂き、盛会に終わりましたこと、この場をお借りして心からお礼申し上げたいと思います。本日の委員会は例年通り、昨年度の事業実績、決算、様々なご報告をさせていただきます。今年度の事業計画予算についてもお諮りしますのでご審議よろしくお願い致します。後半の部分に報告事項が多々ありまして、そちらに十分に時間を割きたいと思っておりますので議事の進行につきましてはご協力頂けます様よろしくお願い致します。特に今年は第三期丹沢大山自然再生計画の見直しの年になっております。再生委員会も再生計画も10年という節目を迎えました。一定の成果が出たと評価しているところですが、さらなる丹沢の再生に向けて皆様から様々なご意見を頂きたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

では早速ですが、資料に従いまして事務局の方から説明をお願い致します。

【議案1】 平成27年度事業実績・決算について

- ・平成27年度事業実績報告
- ・企業等からの寄付報告
- ・平成27年度決算及び監査報告

<事務局より資料1、資料2にもとづき説明>

○羽山委員長

谷監事から決算、監査の結果報告をお願い致します。

○谷監事（監査報告）

平成28年5月17日、平成27年度丹沢大山自然再生委員会収支決算の監査を行いましたところ、適正に処理されていることを確認しましたので報告します。

○羽山委員長

今のご報告に付きまして、どなたかご質問・ご意見ありましたらお願い致します。

<質疑応答>特になし。

○羽山委員長

それでは議案1「平成27年度事業実績・決算」について、ご承認をお願い致します。
ご異議なければ拍手をお願い致します。

○一同 拍手

○羽山委員長

本件は承認されました。寄付等のご協力をいただきました、ウエイズグループ様、サントリーホールディングス株式会社様、イベント来場者と個人の皆様、この場をお借り致しましてお礼申し上げます。ありがとうございました。

【議案2】 平成28年度事業計画・予算（案）について

- ・平成28年度事業計画（案）
- ・平成28年度収支予算（案）

<事務局より資料4、資料5、資料6にもとづき説明>

○羽山委員長

事業計画にあります活動報告会につきましては、後半に改めてご意見を伺いたいと思います。事業計画案と予算案について、何かご意見・ご質問等ありましたらお願い致します。

○厚木市・小島委員

資料5の繰入金が予算額1,193,789円とありますが、こちらは平成27年度決算の収支残高（繰越金）1,340,902円とは違うのでしょうか。

○事務局

確認してあらためてご報告いたします。

○羽山委員長

資料2の繰越金の金額と平成28年度の予算額が合わないということですね。ご確認頂いて、後日ご連絡頂くということでもよろしいでしょうか。大変申し訳ありませんが、予算案につきましてはそのような形でご了承頂ければと思います。事業計画案についてはいかがでしょうか。特にご異議がなければご承認頂きたいと思います。よろしければ拍手をお願い致します。

○一同 拍手

○羽山委員長

それでは平成 28 年度の事業計画案につきましては、ご承認頂いたということにさせていただきます。

※予算案については、総会最後の「その他」で以下のとおり報告し、了承された。

資料 5【収入の部】予算額・繰入金金額に間違いがございました。正しくは、【資料 2】に記載されております収支残高（繰越金）1,340,902 円でした。その結果、予算額合計額が 4,505,113 円になります。これに対しまして、【支出の部】予算額・予備費金額が 575,113 円となり、予算額合計額が 4,505,113 円に変更になります。記載ミスがあり、大変申し訳ございませんでした。また、この結果につきましては至急、皆様に修正版をお送りさせていただきます。よろしくお願い致します。

○羽山委員長

続いては報告事項になりますので、各専門部会から報告と提案を頂きます。まず事業計画・評価専門部会の勝山部会長からお願い致します。

【報告事項 1】専門部会の報告・提案について

ア 事業計画・評価専門部会

<勝山部会長より資料 7 にもとづき部会の活動内容を報告>

○羽山委員長

県の次期丹沢大山自然再生計画につきましては、これまでの経緯を含め、事業計画・評価専門部会で計画の方向性作りから県と議論を重ねて頂くようお願いをしていたところですが、この概要については後ほど県から報告がありますので、その中でどのように反映されたかご検討頂ければと思います。事業計画・評価専門部会の報告について、何かご意見・ご質問等ありましたらお願い致します。

<質疑応答>特になし。

○羽山委員長

ありがとうございます。では次に県民事業専門部会の久保部会長から報告をお願い致します。

イ 県民事業専門部会

<久保部会長より資料 9-1~4 にもとづき部会の活動内容を報告>

○羽山委員長

ありがとうございました。県民事業専門部会の報告について、何かご意見・ご質問等ありましたらお願い致します。

<質疑応答>特になし。

○羽山委員長

ご意見が無ければ、県民事業専門部会からの報告を終わらせて頂きたいと思います。次に調査専門部会の糸長部会長から報告をお願いします。これから昨年度に調査助成金を活用した団体の報告も頂きますので、質疑はその報告の後でまとめて行いたいと思います。

ウ 調査専門部会

・平成 27 年度調査部会実施調査報告

<糸長部会長より資料 8 にもとづき部会全般の活動内容を報告>

<平成 27 年度 実施調査 6 項目について、糸長氏、三谷氏から結果報告>

○熊澤委員

(三谷氏からの報告を受けて) 役員会でも色々と討議しましたが、メディア等のアピールが功を奏して、若い人たちがかなり入ってくる可能性があると感じています。このデータもそれを裏付ける証拠として受け止めておりますが、支部の受け入れは中々難しい事情もあります。捕獲実施隊となると市町村の予算に基づいたことなので、簡単には増員できないという問題もあります。若い人たちは役に立ちたいという意欲を持って電話をしてくるのですが、市町村長が任命しているのでこちらで勝手に隊員に任命するわけにもいきません。今後は行政共々、検討したいと思っております。

○羽山委員長

ありがとうございました。調査専門報告へのご意見・ご質問等ありましたらお願い致します。

<質疑応答>特になし

○羽山委員長

よろしいでしょうか。では、長時間に亘ってきましたので、ここで5分くらいの休憩を取りたいと思います。よろしくお願い致します。

<休憩>

○羽山委員長

それでは報告事項の次期丹沢大山自然再生計画について、現在の検討状況を報告頂きたいと思います。

【報告事項 2】次期丹沢大山自然再生計画について

<自然環境保全センター足立課長より資料 10、参考資料 2 にもとづき説明>

○羽山委員長

ご報告いただきました基本的な方向につきまして、ご意見・ご質問等ありましたら、お願い致します。

○杉本委員

一つ目に、北丹沢山岳センターで特に蛭ヶ岳山荘を運営しておりますが、その蛭ヶ岳山荘から見た現状等から、ぜひ今後の計画に盛り込んで頂きたいと思っています。蛭ヶ岳は神奈川県丹沢の象徴的な存在でもあります。蛭ヶ岳山荘の場所にはかつて樹木がありましたが、今は生育した木は一本もございません。私どもがほぼ 20 年前に蛭ヶ岳をお預かりした時からスズタケが減少し、樹木が枯れてきていました。一説には、京浜地域の亜硫酸ガスのせいで樹木を枯らしたと言われていますが、だからと言ってこのままにしておくわけにもいきません。県には山頂部分には土砂止めをして頂きましたが、現実にはまだまだユーシン側に崩れてきており、危機感を持っております。特別地域なのは承知ですが、緑の復活、山頂部分への植林をご提案したいと思えます。また二つ目に、30 年後には首都圏に大地震が来ると予想されています。山についても地震対策の想定も検討して頂ければ幸いです。

○羽山委員長

ありがとうございました。一点目は蛭ヶ岳等の山頂についてももう少し手を加えられないか、二点目は大規模な震災に対応する事業を計画に反映できないか、ということでしょうか。これについて保全センターからお願いします。

○山根部長

先ず一点目の植林に関してですが、ブナ林の進捗状況をお話ししましたが、段階的に進めるということと、必ずしもすべての場所で植林を行うことで以前と同じようなブナ林に戻るかどうかについてはリスクがありますので、評価をしながら慎重に進める必要があるということで、再生委員会と相談しながら一番良い方法を検討しているところです。二点目につきましては、地震発生や最近の温暖化等の新しい状況が 10 年前の自然再生構想とそれからの計画とはかなり差が出てきておまして、幹事会でも取組む方向性や対策について意見が上がってきておりますので、相談しながら進めていきたいと思っております。

○羽山委員長

ありがとうございます。他にございますか。

○中村委員

自然再生計画に人工林整備の取組、渓流域・溪畔林対策等が出ていますが、ここに書かれていることは恐らく 10 年前に書かれていることがそのまま転記されているように感じます。そもそもどこで何をするのかという具体的な提示がありませんので、今さら再生計画に提示する必要があるのかという気がします。殊に溪畔林再生というのは一般の県民にとって非常にわかりやすい事業なのです。こういった事業では植生の回復を小さな面積の中でモニタリングするだけではなく、一定の距離を置いて溪畔林を再生することによってどういう昆虫層が発生するか、魚にはどのような餌環境の改善に繋がっていくか、等々の具体的な事業内容を提示して頂きたいと考えています。

また、狩猟に関して、一般の狩猟者を増やすことと、管理捕獲、有害駆除については切り離して考えるべきだと思っています。ハンターがいることで直接被害を減らす、山の状況を改善するとは考えていません。それよりは、レンジャー制度を充実させていく、猟友会と役割分担をきちっと決めて管理捕獲と有害駆除とを分けて進めていくことが必要ではないかと思っています。理由の一つとして、猟友会では平均年齢 70～80 歳が主体という中、山での管理捕獲は無理だと考えるからです。私は基本的に勧誘してまで、狩猟者を増やす必要はないと思っています。もう一つの提案ですが、丹沢大山自然再生委員会の認知度は殆どありません。活動内容も理解されていません。先日、カンバッチを作成したと伺いましたが、最近では登山者が様々なカンバッチをバッグに下げている方をよく見かけますし、丹沢再生委員会のカンバッチも色々な人につけてもらうことによって丹沢大山自然再生委員会の認知度が広がっていくのではないかと思います。イベントに集まった人に配布するだけでなく、山小屋や登山口のお店等に置いて頂いて、手数料無しで委託販売に協力頂くのも認知度を上げる方法だと思います。

○山根部長

溪畔林の件ですが、今回まとめましたのは初期段階の整備についてでして、丹沢は特にシカの影響がございますので、そういったことにも配慮事項としております。明らかな面積で溪畔林の整備をしておりますので、一定の面積での整備の影響はモニタリングしていく中でご指摘の内容について対応していく考えです。また今後は、森林等でも適宜一つ一つ効果を反映していく予定でおります。認知度アップに関してですが、カンバッチの件につきましては検討させていただきます。レンジャーの件につきましては、自然環境保全課よりお願いしたいと思っております。

○自然環境保全課 椎野課長

狩猟従事者を増やせば管理捕獲の担い手が増えるのかというところはあるかと思っております。今までは狩猟免許を取ってもらうことにも力を入れてやって参りましたが、管理捕獲の担い手を育成するという視点からどういった形がいいのか、今後検討させていただきます。と考えております。

○羽山委員長

恐らく中村委員が言わんとされていたところは、華がないというか、目玉はどれかというところで、実際これから基本方向に従って新たな各事業の予算取りはご検討されるわけですね。ですからその中で、第2期までとは違うというのが素案の段階では見えてくるということでもよろしいでしょうか。その段階で精査して頂くということをお願いしたいと思います。

○中村委員

人工林は色々ありますが、どこで問題が起きていて、どこは混合林がいいというのは、地図の上でわかるはずで、そうすれば、どこで何をすればいいかも決められるはずで、全体でなくてよいので、もうそろそろ具体的にここではこうする、というようなものを提示していく必要があると思っております。溪畔林でも同じで、私有林で活用していくとしても、県有林で結果がでないものを喜んで協力してくれるはずがないと思っております。県有林できちっとやって、モニタリングし、県民委員や再生委員会等で評価してもらい、確信が持てれば協力してくれるかもしれませんが、そうでなければ難しいと思っております。

○糸長部会長

このような再生事業をすることが、地域の所属自治体の皆さんや地域経済効果にどのように繋がっていくのか、もう少し見えた方がいいかと思います。人材育成にも関係してきますが、次の担い手をどう育てるのか等、色々なことも含めて、自然再生計画で予算が付いているから大丈夫と言ってもいつまでも予算が付くはずはないでしょうから、もう少し地域の経済を動かしていくための仕掛けがほしいと思います。もう一点は、地震もさることながら集中豪雨からの山崩れ等々も含めて、山の管理が地域の生き残りに関して重要な要因になっていると思います。地域にとってどうか、というところまで踏み込んでほしいと思います。

○富村委員

恐らく集中的な取り組みがなければ、今後の5年後も相変わらずの同じ課題になっていると思うのですが、その根底には世界の現象として森林が無くなりつつあるという現象の中に日本・丹沢が含まれていることが挙げられます。神奈川県でも解決の難しい問題に直面しているということをおっしゃった上で、実現可能な範囲を限定するといった効果的な方法を考えておけば、次期計画にはその方向でがんばりたいくらいの気持ちで載せれば良いと思っています。経済的なことと言えば、現時点で日本の林業は生業として成り立っていません。ただ、できるかどうかはわかりませんが、例えば効果のない（収穫の見込みのない）人工林は放置して自然林に変えるといったことなど、長期的で具体的などころは盛り込むべきだと思っています。

○羽山委員長

頂いた色々なご意見を今後の検討に使って頂けるかと思いますが、基本的にこれから素案の作成作業が進みます。その中で、ただ今言っていたような理念や、それぞれの個別事業等が提案されてくることと思いますが、再生委員会としては事業評価部会が窓口になって意見交換をしていきたいと考えています。事業評価部会での検討結果は素案の検討過程で構成委員の方々にお伝えし、個別にご意見を頂くという手順を幹事会で考えたいと思います。県にはその2点を踏まえて素案を作成して頂ければと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。この後、活動報告会のところでもご説明しますが、10月に次期計画をテーマにした報告会を再生委員会として主催したいと思っています。その後、委員の方にもぜひご参加頂きまして臨時の総会を開催したいと考えております。臨時の総会では次期再生計画の素案を踏まえ、委員会としての再生の取組の方向性等をじっくりと意見交換できればと考えております。こういった形で進めていきたいと思いますが、これにつきまして委員会としてご了解頂ければと思うのですが、いかがでしょうか。

○一同 了承

○羽山委員長

ありがとうございます。そうしましたら今後は事業評価部会を中心に進めて頂きたいと思いますので、勝山部会長、よろしくお願い致します。

最後の議題になりますが、今年度の活動報告会についてお諮りしたいと思います。

【報告事項3】丹沢大山自然再生活動報告会について

<羽山委員長より当日配布資料（委員長提案）にもとづき説明>

○羽山委員長

昨年度、活動報告会というタイトルでやりましたが、国定公園指定 50 周年を記念しまして、これまでの丹沢での様々な活動を振り返ったシンポジウムを開催し、非常にたくさんの方に関心を持って頂けたと思います。先ほど 10 年と申しましたが、そろそろ中長期的な方向性を見通して行きたいと考えております。もちろん、幾つかは次期計画に反映させて頂きたいと考えておりますが、今年度も引き続いて委員会全体の事業としてこの報告会を持ちたいと考えております。従いまして、幹事会を中心とした有志による実行委員会形式で開催したいと考えています。

趣旨としましては、今年度が次期計画の改定年ということになりましたので、これまでの 10 年の取組を振り返ることと次期計画の素案について県からご報告頂くようにしたいと考えています。資料はたたき台としてお考え頂き、タイトル等もあくまでも仮で、実行委員会中心に変更して頂ければと思っています。開催時期については、再生計画に対して意見をなるべく反映させて頂きたいという趣旨がありますので、この素案の県のパブリックコメントの期間中ということで、現在の候補備が 10 月 29 日（土）を計画しております。まだ会場も確保できておりませんが、いずれにしてもパブリックコメント期間中に開催をするということにしたいと思います。

内容につきましては、まず再生委員会の方からこれまでの取組の振り返り、あるいは現在の活動の報告を頂いて、その後、これまでの再生計画の評価、課題を事業評価部会部会長、調査専門部会部会長からご報告をお願いしたいと思っております。調査専門部会ではこれまでも様々な調査をしておりますので、最新の科学的なデータについてもご報告できればと思っております。これを受けて、県からは次期計画にこれまでの成果を踏まえ、どのような新たな計画を提案されるのか、素案をご報告頂きたいと思っております。これらの報告を受け、最後に今後の自然再生の取組、再生委員会としての取組を皆さんで議論できればと考えております。この報告会終了後、30 分ないし時間が十分に取れば、再生委員会臨時総会を開催しまして、今後の中長期的な取組についての意見交換をしたいと考えております。

先ほどご了解頂きましたが、再生計画の素案の作成過程の意見交換は、事業評価部会が窓口になりますので、部会としての考えをまた皆様方にもお諮りしたいと考えております。以上が私からの本年度の報告会のご提案ですが、これにつきましてご意見を頂ければと思います。

○中村委員

10 月、11 月の初めというのは、色々な団体の行事が重なっていると思いますので、参加できない団体がいくつも出てくるのではないのでしょうか。今までは冬開催が多かったですよね。

○羽山委員長

議会で次期計画の素案が出るのが 9 月なので、次期的にあまり遅くないほうがよいのではないかという提案です。

○中村委員

活動報告会が出た意見が反映されるのでしょうか。個別に意見を出すのとどちらがいいのでしょうか。

○羽山委員長

個別に意見を出して頂くのは構わないと思うのですが、再生委員会として中長期的に将来に向けてこうあるべきという意見交換をしてもよいのではないかという趣旨です。

○中村委員

活動報告会として実施する意味があるのでしょうか。

○羽山委員長

名称についても、この2年間で活動報告会という形ではなくなってきたかと思うのですが、これまでの経緯もありますので、活動報告会という形にしています。

○中村委員

活動報告ではなく、県への提案という意味ならば10月でもよいと思います。

○羽山委員長

他にご意見が無いようでしたら、今後、詳細につきましては幹事会の方から実行委員会の結成を呼びかけたいと思いますので、そちらで詳細を決めて頂ければと思います。また、報告会終了後に臨時総会を開催したいと思いますので、よろしくお願い致します。

【その他】

※資料5の修正について報告し、委員の了承を受けた。(前述のとおり)

○羽山委員長

ありがとうございました。では、事業計画も予算案もご了承頂いただいたということで終わらせて頂きます。委員の方から他にご質問等ございませんでしょうか。よろしければ議事終了とさせていただきます。本日は長時間ありがとうございました。

以上